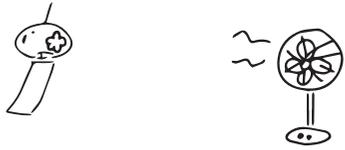


Youth Manna

2021/8/9 - 8/15



さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。マルコ 1:35

2021/8/9(月)

使徒 21:1-16

パウロ一行は、エルサレムの兄弟達に施しをするため(24:17)、エルサレムへの旅路に出発した(1)。ツロ、トレマイ、カイザリヤ…ここでも多くの地名が出てくるが、パウロが辿った道にはどこにでも同じく主イエスを信じる弟子達がいた。この世界に同じ神様を信じて歩んでいる教会、また教会を支える働きが多数存在していることは、神様がおられ、異邦人にも救いの計画があることの証明なのではないだろうか。

さて、預言者アガボやルカたちは、エルサレムでパウロが拘束される事を預言し、エルサレム行きを止めた(12)が、パウロは既に自分の行く道は苦難の道であり(20:23)、「主イエスの御名のためなら死ぬことさえも覚悟している(13)」と断言した。

私たちが今日、イエス様のために献げられることは何かあるだろうか。考えて、実行してみよう。

2021/8/10(火)

使徒 21:17-26

パウロたちはエルサレムに着くと、早速エルサレムにある教会で戦況報告をしました。

しかしそこで聞いたことは、パウロに関して良くない噂(21節)が広まっているということでした。パウロは国外に住むユダヤ人に対して、21節にあるようなことを教えたことはありません。ヤコブと長老たちは、パウロに対する誤解を解くために、アドバイスをし、パウロはそれに従いました。

私達も、色々な人の話や噂を聞くことがありますね。そしてその中には人の悪意や誤解が入り込んだものもあります。それを聞いた時、その人を見る目が曲げられてしまわないように、神様の目でその人を見る事が出来るように、いつでも神様心を向けよう！

2021/8/11(水)

使徒 21:27-40

パウロは長老たちの勧めに従って浄めの期間を守り、律法を遵守していることを証明しようとした。ところがその最終日に事件が起きたのである。パウロたちがエルサレムに上った目的は、困窮している兄弟たちへ献金を届けるためであった。しかしパウロを迫害していた人たちが彼らを見つけ、間違っただけの思い込みから怒り、パウロを捕らえた。

パウロは暴行を受け、危うく殺されそうになった。兵士たちに担がれたところで、パウロは群衆に話す機会を得た。この状況において、福音を語る最大の機会だと思ったのである。

パウロは群衆を愛し、彼らの救いを願っていた。救いを願っている家族、友人の名前を挙げ、祈ろう！

2021/8/12(木)

使徒 22:1-16

今日の箇所ではパウロは、少し前まで殺してしまえ、と叫んでいた群衆を前で語りかけた。群衆は一人残らずパウロに注目して、ヘブル語で語り出すとますます静かになった。

パウロはかつての自分と同じ考えの者たちに親しみを込めて語りかけ、パウロは当時のユダヤ教師の中で最も尊敬されていたガマリエルの門下生であったこと、集まった人々と同じ考えであり、キリスト者を迫害していたこと、ダマスコの途上で神様に触れられたことを語った。

自分と違う考えの人、敵対するような人にも動じることなく、あなたは神様を中心にし続けることが出来るだろうか？神様にあって歩めるように祈ろう！

左利きの日

2021/8/13(金)

使徒 22:17-30

▶パウロが民衆に対して弁明している続きだ。使徒の働きではこの後、パウロが議会→総督→王の前で弁明をし、ローマに着くところまでが書かれている。

▶途中まで民衆はパウロの発言を静かに聞いていた。だが「異邦人」という一言を聞いた瞬間、民衆は猛烈に抗議した。神の愛と恵みを、パウロが異邦人にも語って分け与えることが、ユダヤ人たちにとって受け入れられなかった。

▶イエスによる神の愛と恵みには、どんなものにも変えられないほどの価値がある。私達は、その価値ある神の愛と恵みを自分だけのものにしていないだろうか。伝えているだろうか。

2021/8/14(土)

使徒 23:1-11

パウロは最高法院の人々のところへ連れてこられた。彼はその中でも大胆に死者の復活について語っているね。最高法院にはもともと復活や御使い、霊を信じる人と信じない人がいたから、この話を聞いて激しく論じ合いが始まった。それは千人隊長がパウロを守ろうとしているくらい、激しいものだった。

形だけを見ると、決して成功とは言えないような宣教となったパウロ。だけど、神様はその夜しっかりと励ましの言葉をかけてくださったんだ。

今、自分が思うようにいかないことってあるかな？神様が励ましてくださっているのを受け取り、今いる場所で神様を1番にして大胆に信仰を語っていきましょう！

2021/8/15(日)

使徒 23:12-22

今日の箇所ではパウロの暗殺計画を実行しようとするユダヤ人達の箇所から始まります。その計画を知ったパウロの甥は、その計画を千人隊長に伝え、千人隊長は甥の情報を疑うことなく、パウロを救出するための行動を起こしました。

日本に暮らす私たちには暗殺と聞いてもピンと来ない話かもしれませんが、ここで読んだようなことが日常茶飯事に起きている国もあります。信仰のために困難や迫害を経験している人たちのために祈ろう！